

2010年(平成22年)4月期 中間決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長 宮崎 勝

経営管理ユニット長 寺本 昌弘

留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ホームページ『財務・IR情報』に掲載します。

URL <http://www.softs.co.jp/ir/index.html>

このプレゼンテーション資料には、2009年12月11日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競争状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※このプレゼンテーション資料の金額は切り捨てで表示しています。

アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 中間期(H21.5-10)の状況
4. 平成22年4月期の業績見通し
5. トピックス
6. 質疑応答



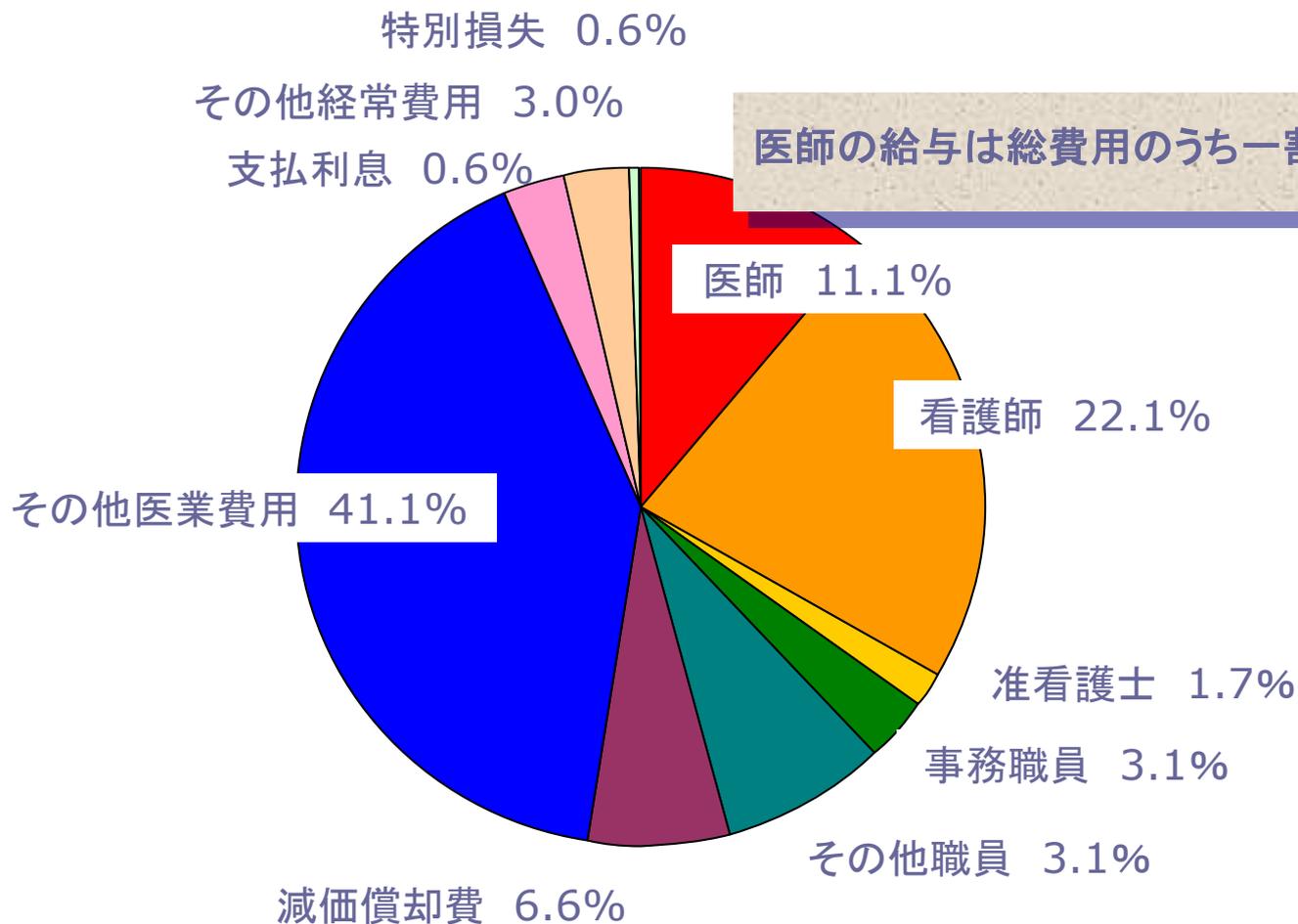
1. 会社紹介

会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
- 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原1-7-38（支社・支店なし）
本社：大阪市淀川区宮原4-2-30（平成20年5月19日移転）
- 設立 昭和44年4月
- 従業員 453名（平成21年12月11日現在）
- 資本金 847百万円（平成16年2月20日 ヘラクレス上場）
- 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・指導・保守
- ユーザー 227ユーザー <公的・準公的：41民間：186>（H21.10現在）
- 特徴
 - ①専門特化
 - ②自前主義
 - ③創造価値
 ⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足向上」を実現

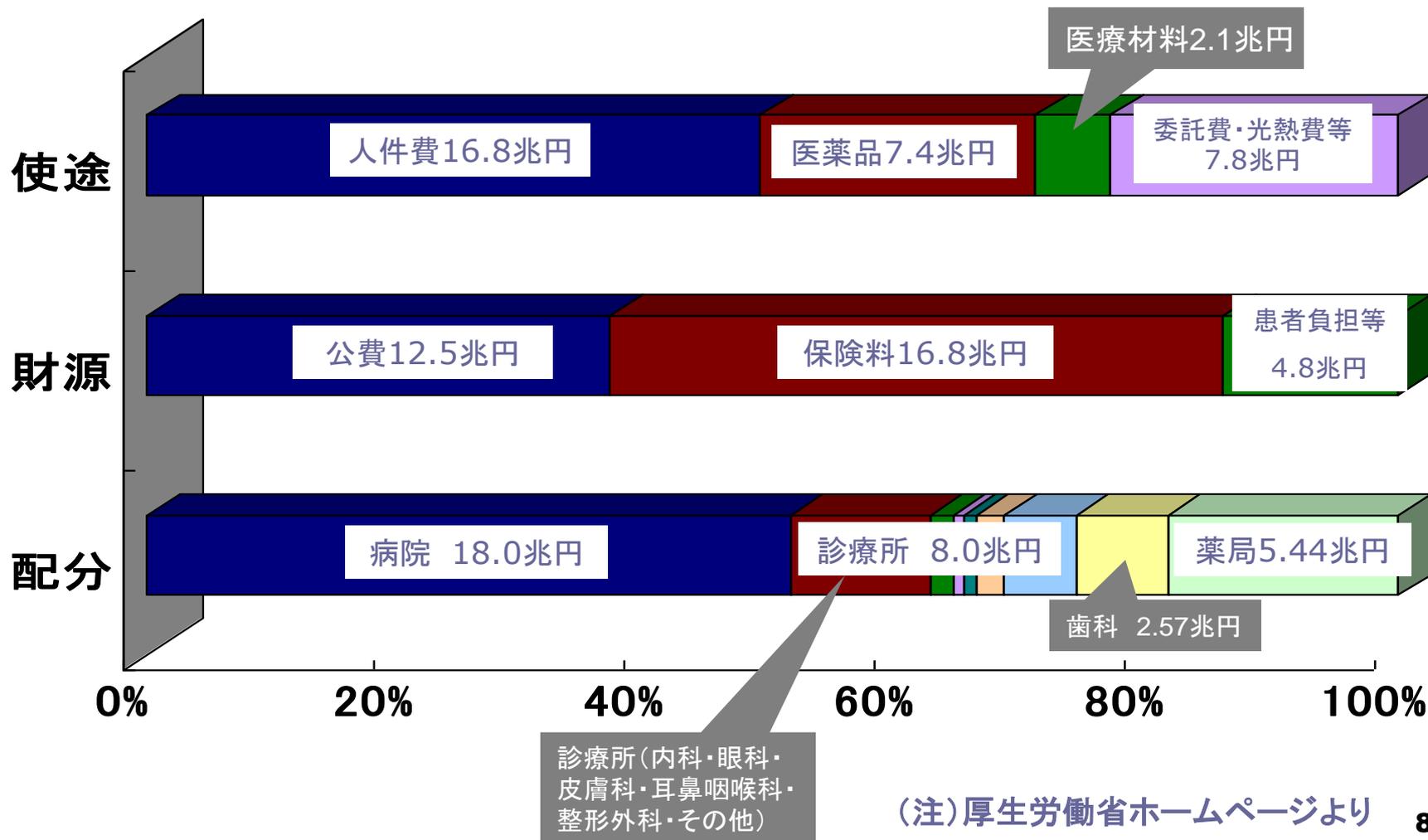
2. 業界動向

公的病院における医師給与費の割合について



(注)厚生労働省ホームページより

医療費(34兆円)の使途・財源・配分について



医療費と医療現場の現状

- 年々、医療費は増加しているものの、国際的には低水準（対GDP比はOECD30カ国中21位）であり、医療現場は効率的かつ質の高い医療を提供するため努力を重ねている。
- 連立政権合意においては、医療費（GDP比）の先進国（OECD）並みの確保を目指すとされている。
- しかし、総額34兆円、医科だけでも26兆円にもおよび医療費の規模を考えると、診療報酬の改定を行うにしても、医療再生のためには、もう一段の検討や努力が必要。

医療費の配分の見直し

- 医療費の配分を抜本的に見直すことによって、医師不足問題に対応、また薬価を引き下げることによって、国民負担を軽減しながら現状を食い止め、サービスの充実を目指す。
- 医療費の増大 ⇒ 保険料負担増(50%)、患者負担増(14%)、となる。
- 医療費負担34兆円の内訳

| | | |
|-------|--------------|-------------------|
| 公費(税) | :37%(12.5兆円) | [国:25%、地方12%] |
| 保険料 | :49%(16.8兆円) | [事業主:20%、被保険者29%] |
| 患者負担等 | :14%(4.8兆円) | |

※使途:34兆円のうち人件費は49%(16.8兆円)

医療現場の状況のまとめ

■ 病院におけるIT導入に関する評価

ITを活用して医療費のムダを洗い出す改革が停滞しているとも言われる状況のなか、ITは情報の伝達・統合・整理・分析において、これらを活用した高度な予防医療の質の支援と医療機関による質の高い医療の実現が求められる。今後はIT化による効果を検証し、目的の評価や導入前後の比較が重要となる。

■ 今後の医療情報システム業界は

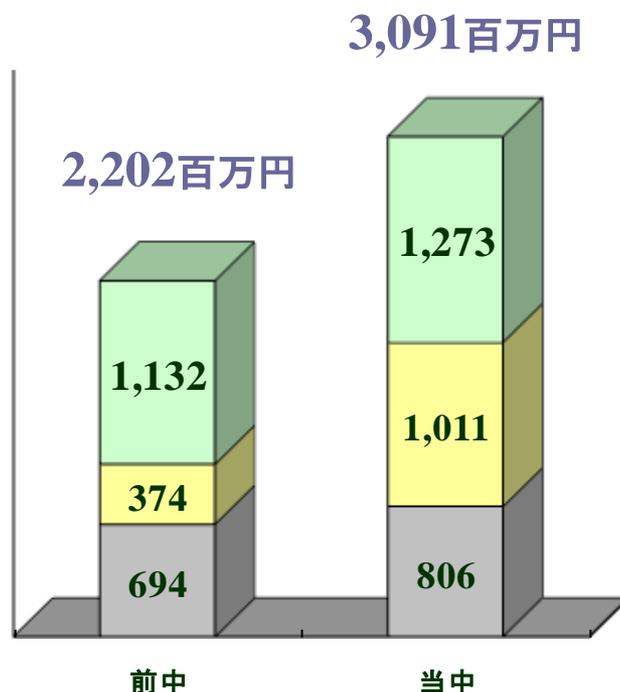
IT導入は情報共有や作業の合理化が主たる目的であったが、今後は医療従事者の労働改善も大きな要因となる。導入効果や評価の整備が求められ、これまで以上にシステム化、IT化は注目される。

3. 中間期(H21.5-10)の状況

中間期業績の概要(前期比較)

| | H21/4中 百万円 | 構成比 | H22/4中 百万円 | 構成比 | 増減率 |
|-------|---------------|--------|---------------|--------|--------|
| 売上高 | 2,202 | 100.0% | 3,091 | 100.0% | +40.4% |
| 売上総利益 | 694 | 31.5% | 838 | 27.1% | +20.8% |
| 営業利益 | 273 | 12.4% | 446 | 14.4% | +63.3% |
| 経常利益 | 262 | 11.9% | 448 | 14.5% | +70.7% |
| 当期純利益 | 116 | 5.3% | 261 | 8.4% | 123.7% |

売上高構成比推移(前期比較)



【対前期増減】

+889百万円 (+40.4%)

ソフトウェア売上高

+141百万円 (+12.4%)

ハードウェア売上高

+637百万円 (+169.8%)

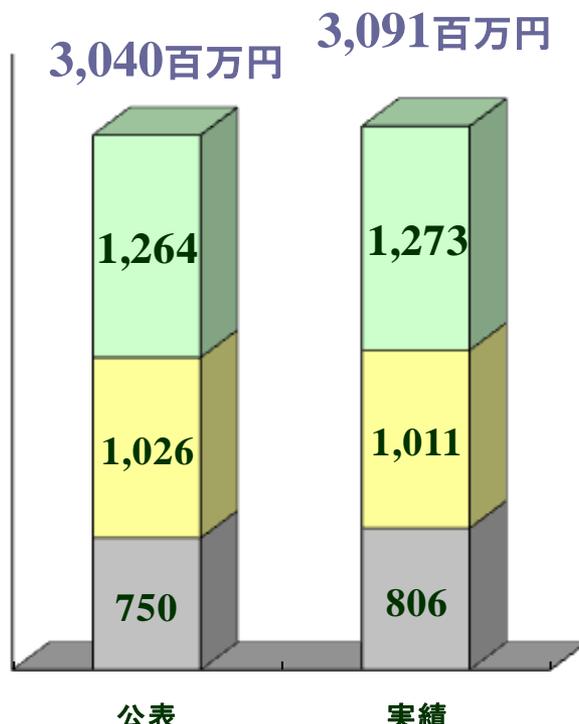
保守売上高

+112百万円 (+16.2%)

中間期業績の概要(公表数値比較)

| | 公表数値 百万円 | 構成比 | H22/4中 百万円 | 構成比 | 増減率 |
|-------|-------------|--------|---------------|--------|--------|
| 売上高 | 3,040 | 100.0% | 3,091 | 100.0% | +1.7% |
| 売上総利益 | 751 | 24.7% | 838 | 27.1% | +11.6% |
| 営業利益 | 296 | 9.7% | 446 | 14.4% | +50.8% |
| 経常利益 | 300 | 9.9% | 448 | 14.5% | +49.4% |
| 当期純利益 | 187 | 6.2% | 261 | 8.4% | +39.1% |

売上高構成比推移(公表数値比較)



【対公表数値増減】

+51百万円(+1.7%)

ソフトウェア売上高

+9百万円(+0.7%)

ハードウェア売上高

▲15百万円(▲1.5%)

保守売上高

+56百万円(+7.5%)

対公表数値比について

【売上について】

微増収。ほぼ計画どおり。

【利益について】

主として、未稼働案件に係る投下工数の変動により、仕掛品の当第2四半期会計期間末残高の増加。

中間期稼働病院

| No | 稼働月 | 病院名 | 病床数 | オーダーング | e-カルテ |
|----|-----|------------------|----------|--------|-------|
| 1 | 6月 | 福岡青洲会病院 | 213 | 導入済 | ● |
| 2 | 6月 | 小山田記念病院 | 230 | ● | ● |
| 3 | 7月 | 玉造厚生年金病院 | 306 | ● | ● |
| 4 | 7月 | 岡病院 | 85 | ● | ● |
| 5 | 7月 | 黒沢病院・ヘルスパーククリニック | 117(病・診) | ● | ● |
| 6 | 7月 | 社会保険紀南病院 | 352 | ● | ● |
| 7 | 7月 | 紀南こころの医療センター | 254 | ● | ● |
| 8 | 8月 | 東京厚生年金病院 | 520 | ● | ● |
| 9 | 8月 | 倉吉病院 | 278 | 導入済 | ● |
| 10 | 8月 | (非公表) | 285 | ● | — |
| 11 | 9月 | (非公表) | 400 | ● | — |
| 12 | 10月 | 興生総合病院 | 323 | 導入済 | ● |

中間期稼働病院

| No | 稼働月 | 病院名 | 病床数 | オーダーリング | e-カルテ |
|----|-----|------------|-----|---------|-------|
| 13 | 10月 | 甲賀市立信楽中央病院 | 50 | ● | — |

(注) 通常は、診療所はプロジェクトとしてカウントしませんが、案件として比較的大きいため、カウントしています。

※徳洲会グループ導入実績:28病院(全64病院) 平成21年10月現在

<中間期案件数> 37期中間期: 12案件(1,072億円)
 38期中間期: 11案件(1,424億円)
 前々中間期: 15案件(1,277億円)
 前中間期: 14案件(1,133億円)
 当中間期: 13案件(1,273億円)
 ※()はソフトウェア売上高

<現在227ユーザ>(公的・準公的:41 民間186)
 (HP掲載ユーザ 227病院)

4. 平成22年4月期の業績見通し

業績見通し

【単位：百万円】

| | H21/4期 実績 | H22/4期 見通し | 増減額 | 増減比 |
|--------|--------------|----------------|--------|---------|
| 売上高 | 5,224 | 8,000 | +2,775 | +53.1% |
| 売上総利益 | 1,748 | 2,613 | +864 | +49.4% |
| 営業利益 | 847 | 1,603 | +755 | +89.2% |
| 経常利益 | 840 | 1,609 | +768 | +91.5% |
| 当期純利益 | 450 | 982 | +531 | +118.2% |
| 1株当期利益 | 83円59銭 | 183円41銭 | — | — |

売上高の内訳

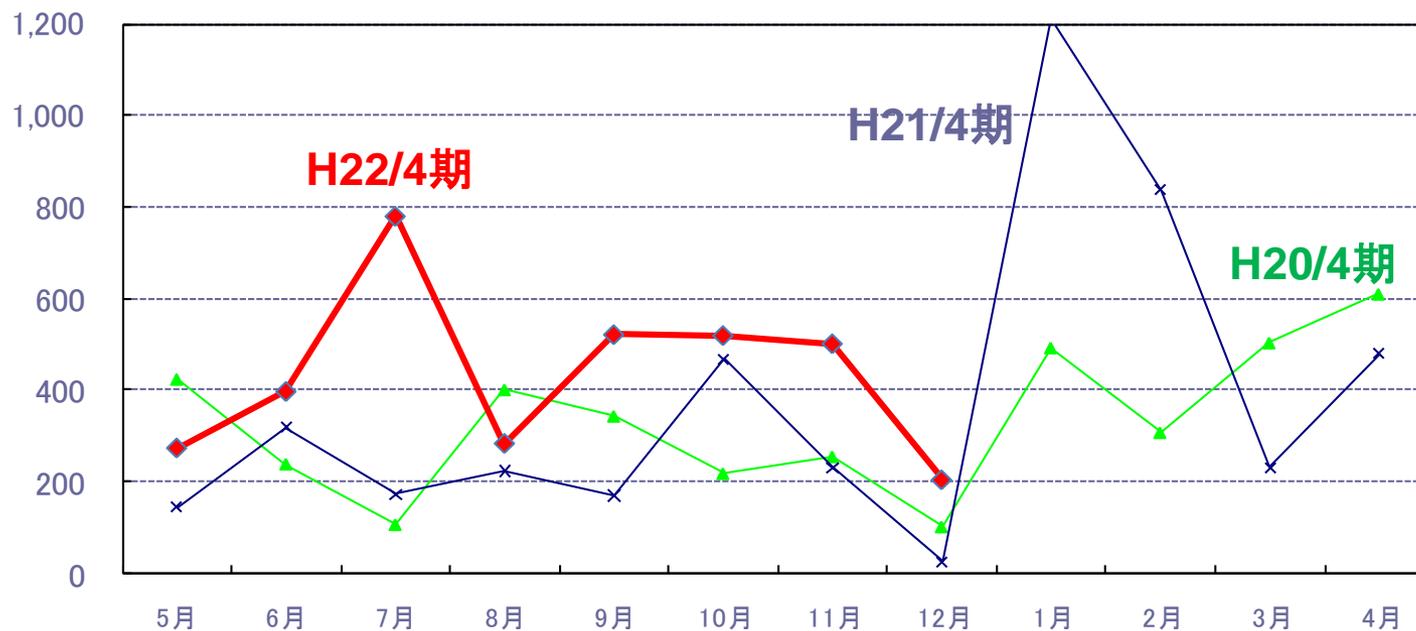
【単位：百万円】

| | H21/4期 実績 | H22/4期 見通し | 増減額 | 増減比 |
|--------|------------------|-------------------------|--------|---------|
| ソフトウェア | 2,696 (51.6%) | 3,800 (47.5%) | +1,103 | +40.9% |
| ハードウェア | 1,085 (20.8%) | 2,600 (32.5%) | +1,514 | +139.6% |
| 保守 | 1,443 (27.6%) | 1,600 (20.0%) | +156 | +10.8% |
| <売上高> | 5,224 | 8,000 | +2,775 | +53.1% |

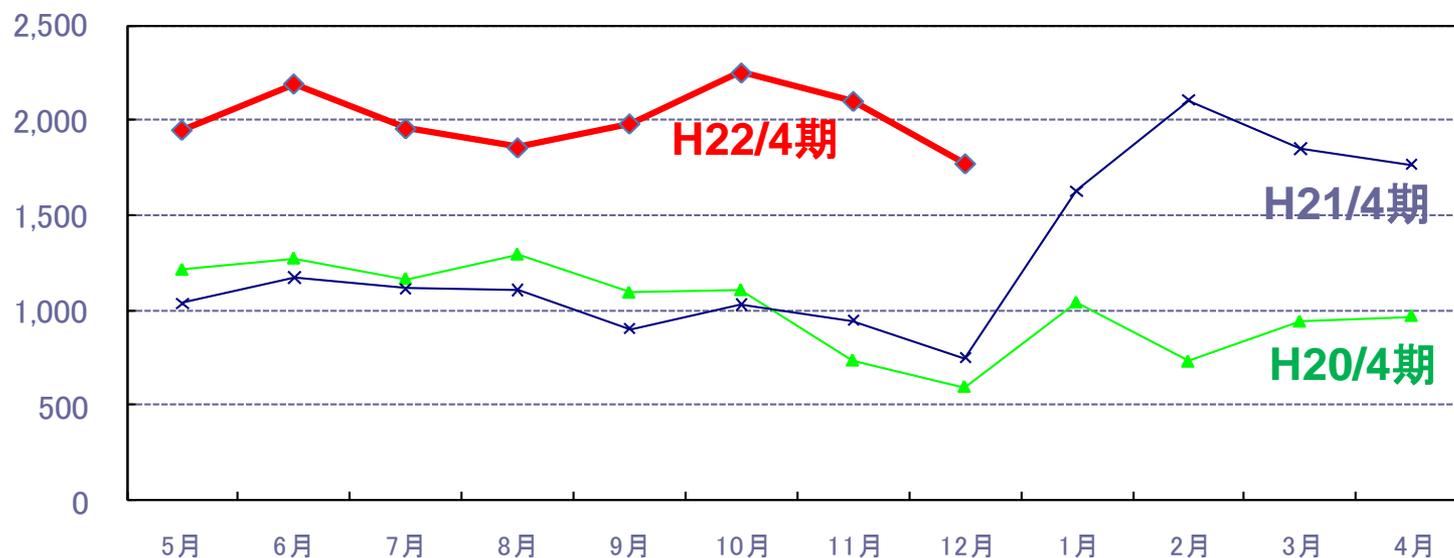
月次売上高の推移



受注高の推移



受注残高の推移



5. トピックス

継続的な取り組み＜ユーザーコミュニケーション＞

第5回SSユーザー会、第3回SSユーザー看護部会開催
～平成21年8月22日(土)～

クリティカルパス勉強会(ワーキング)
～平成21年1月17日(土)、7月18日(土)、11月14日(土)～

当社の強みは「ユーザーとの良好な関係」であり、
他社には真似のできない強みとして、
お客様と業者という関係を超え、
共にシステムを向上させることを目指しています。

ISO9001の取得、Pマーク更新

<国際規格ISO9001>

■平成20年

7月7日 第1回ISO委員会開催(キックオフ)
 12月17日 審査機関決定:JMAQA(日本能率協会)

■平成21年

7月30日・31日 第1回ISO審査
 9月15日 第2回ISO審査<本審査>
 11月17日 審査機関より「合格」の連絡。
 11月25日 HP上にて取得報告。

<Pマーク更新>

11月20日 審査機関より「更新」の連絡。

6. 質疑応答

MEMO